

科目名	担当教員	学期	履修年次	単位
サイバービジネス実習Ⅱ/サイバービジネス実習	廣本 寿夫	後期	2	2

## 【講義題目】

21世紀のビジネスを展望し、グループで新規ビジネスを企画します。(幅広いビジネスの現状を理解するとともに、新しいビジネスを創造するための視点・観点とそのプロセスを習得する。)

## 【授業の到達目標及びテーマ】

## 【講義概要】

インターネットが普及し実用段階に入った現在、斬新で新しい発想が大きなビジネスとして成功している反面、既成のビジネスを繰り返している企業では変革を余儀なくされております。

そこで、本コースでは、コンサルタントの視点・観点で、「ビジネスの現状と課題」を鳥瞰します。そして、学生自身が、グループ演習で「新規ビジネスモデル」を企画・策定し、プレゼンテーションを行います。受講者は、授業時間に限定せず、自主的に研究を行い、新規ビジネス企画に必要な一連のプロセスを体験し、その過程で必要となるノウハウの習得を行います。

さらに、「ビジネスモデル特許」は新規ビジネスの企画・推進において、非常に重要なポイントとなりますので、事例をベースに紹介し、ビジネスモデル特許の策定と取得のプロセスの概要を理解します。

最後に、プレゼンテーションは実社会において、ビジネスの成否を分ける重要なポイントです。グループで企画した「新規ビジネスモデル」のプレゼンテーションを、「シナリオ作成力」・「発表力」の両面で実施し、そのノウハウを習得します。

## 【授業計画】

- 第 1講 : 交流「夏季プロジェクト結果報告とミッション達成への抱負」
- 第 2講 : 講義・演習「会社(企画)のミッション・ビジョン・戦略の策定」
- 第 3講 : 講義・演習「ビジネス環境分析」
- 第 4講 : 講義・演習「ビジネス競争分析」
- 第 5講 : 講義・演習「個別戦略とアクションプランの策定」
- 第 6講 : 講義・演習「ビジネスモデルの確認」
- 第 7講 : 講義・演習「知的財産権とビジネスモデル特許」
- 第 8講 : 講義・演習「収支プランとリスク分析」
- 第 9講 : 講義・演習「事業計画の完成」
- 第10講 : 演習「企画書作成Ⅰ」
- 第11講 : 演習「企画書作成Ⅱ」
- 第12講 : リハーサル「新規ビジネスモデル発表」
- 第13講 : プレゼンテーション「新規ビジネスモデル発表」
- 第14講 : プレゼンテーション「新規ビジネスモデル発表」
- 第15講 : 「フィードバックと会社設立の方法」

## 【成績評価方法】

前 提)積極的にグループ演習に参画し、「新規ビジネスモデル発表」を行うこと。

評価方法)プレゼンテーション「ビジョン策定とビジネスモデル」、「新規ビジネスモデル発表」を評価する。

また、毎回出席を前提とする。(グループワークに支障をきたすため)

さらに、以下の評価要素を加点方式で評価する。

- (1)グループ内評価(チームとしての相互評価)
- (2)演習や課題の提出状況
- (3)夏季プロジェクトの達成状況
- (4)「新規ビジネスモデル論文」の提出

## 【教科書】

：「新規ビジネス企画演習」(株)ワイドブック

：「論理思考で人を動かすプレゼンテーション」(株)ワイドブック

## 【参考書】

## 【準備】

## 【その他】

受講定員は48名とし、受講希望者が定員を超過した場合はレポートにより足切り後、抽選を行い受講者を決定する。

課題「今後成長するであろう企業・ビジネスについて意見を論理的に述べてください。」(字数制限はしないが、400字～3,000字を想定する。)を4月8日(金)までに電子メール(say@widebook.net)に添付の上送ってください。件名はサイバービジネス実習課題レポート、本文には学生番号と名前を必ず書くようにしてください。

事前に「パワーポイント」の基本操作を取得していることが望ましい。

テーマは、ビジネススクールレベルであるが、詳細にはこだわらず、2年生のレベルで理解でき、実践できる内容である。

この科目は、1年間で新規ビジネスを企画し、発表するコースです。前期のみ、後期のみの受講はできません。